

○地域に伝わる特産品を活かした地域づくり

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	新潟県村上市大毎 ^{むらかみしおごと}			
協定面積 86 ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻 (100%)			
交付金額 1,721 万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農道舗装工事・水路改良工事に係る経費		40%
		都市住民との交流、イベント開催等に係る経費		7%
		役員報酬		3%
協定参加者	農業者 100人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

大毎集落協定では、第1～2期対策において、農道・水路等生産環境の整備のほか、田植え・稲刈り体験ツアーや都市部での物産市の開催など、都市住民との交流活動による地域の活性化に取り組んできた。

都市住民との交流イベントで、大毎の特産品を販売したところ大変好評であったことがきっかけとなり、直売・加工施設を整備し、農産物の直売及び加工品の生産・販売に本格的に取り組むこととなった。

3. 取組の内容

平成19年度から3年間、県の「中山間地域豊かな村づくり推進事業」に取り組む中で、「地域の自然の恵みを活かしながら集落を活性化する」という集落の基本方針を策定し、「生産・直売・加工を通じて、近隣及び都市住民との相互交流を推進する」という集落の将来像を描いた。

県の事業とともに直接支払交付金を活用し、転作田への山菜の移植・株養成（H19～）、直売所の開設による野菜・山菜・加工品の販売（H20～）、農産加工施設整備と地域特産品（とち餅、アク笹巻き、山菜を活かした惣菜類等）の加工（H21～）に取り組んでいる。



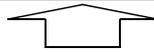
【都市住民との交流：新潟市で開催した大毎物産市】



【平成20年直売所オープン】

[集落の将来像]

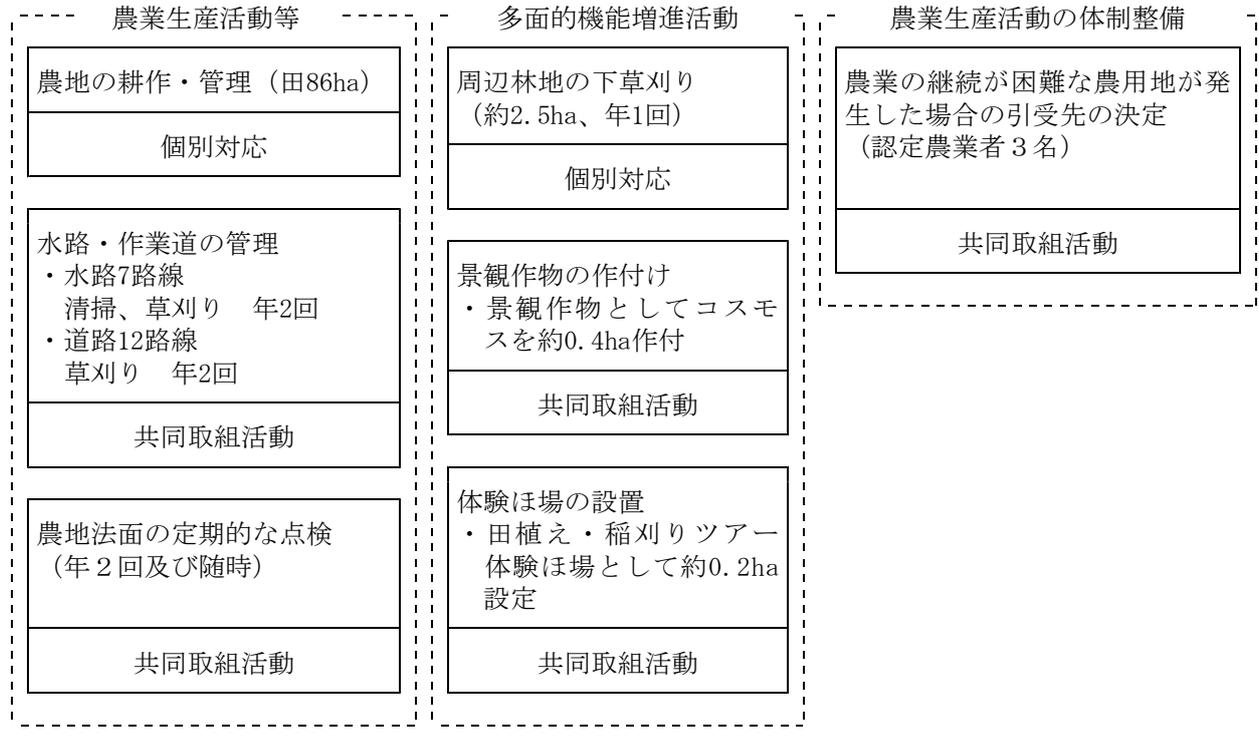
- ・ 集落内協力体制の強化による持続的な農業生産活動の体制整備
- ・ 生産・直売・加工を通じて、近隣及び都市住民との相互交流を推進し、地域を活性化



[将来像を実現するための活動目標]

- ・ 集落内の共同取組活動や協力体制の強化による適切な農用地の維持管理
- ・ 都市住民との交流による多面的機能の増進及び地域活性化
- ・ 地域特産物の加工・販売の拡大

[活動内容]



集落外との連携

- 多面的機能の持続的発揮に向けた非農家との連携
 - ・ 田植え・稲刈り体験ツアーの開催
 - ・ コスモス畑での都市住民との交流イベント（収穫祭）の開催
 - ・ 新潟市における大毎物産市の開催

4. 今後の課題等

集落内外での交流の機会や現金収入が増加し、特に女性たちの活力、元気、やる気の源になっている。

今後は、農産物及び加工品の直売を軌道に乗せることで経営基盤を強化し、出荷量増加に向けた体制を整え販路の拡大を図る。

[第2期対策の主な成果]

- 山菜等新規作物の導入（H17: 0ha、H21実績: 1.2ha）
- 認定農業者の新規育成（H17: 0名、H21: 1名）
- 直売・加工施設整備と加工・販売の取組（H17: 0、H21: 2施設）
- 都市住民との交流による地域の活性化
 - ・ 田植え・稲刈り体験ツアー（H17: 30名、H21: 60名）、コスモス畑での収穫祭（H17: 130名、H21: 150名）